



日本共産党 品川区議会議員

Japanese Communist Party

区政報告 2022年4月17日 No. 351

安藤たい作 ニュース

バックナンバー 品川 安藤たい作ニュース 検索

twitter

@andotaisaku



3時過ぎから第1委員会室にも  
容赦なく降り注ぐ騒音



漫画：安藤たい作

## 予算特別委員会レポート

# 1問1答で地域や区民の声届ける

3月2日から22日まで開かれた予算特別委員会。私が行いました質問の項目と質疑の要旨について、感想を添えて紹介します。

**いつでも誰でも無料で受けられるPCR検査を**

Q・国からは無料検査促進枠を含むコロナ交付金が来ている。これを活用し杉並や世田谷のように、区自らが区民がいつでも誰でも無料で受けられるPCR等検査体制をつくるべき。

A・今は自宅療養している感染者の対応に注力したい。検査が不要だという考えを持ったことは一度もない。

【感想】なぜ検査に使える補助金も来ているにも関わらず品川ではやらないのか。無症状の陽性者を見つける検査の重要性への認識が足りません。

**三ツ木小の建替は、地域の意見を踏まえた検討の推進を**

Q・建替への要望の声、必要性をどう把握しているか。工事車両が入りづらいなど課題はあるものの技術的に建替は可能なのでは。自民区議から「再開発で建て替えを」との意見も出されているが、再開発手法を検討しているのか。

### ? 予算特別委員会とは

- ☑新年度予算案を審査し、「民生費」「土木費」「教育費」など予算種別毎に7日間審査し、最終日に総括質疑を行う。
- ☑品川区議会の場合、基本的に全員の議員及び区長含む全理事者が参加し、質疑を行う。
- ☑本会議とは違い、一問一答の質疑が可能。
- ☑質問時間は、答弁込みで一人10分、15分、20分のいずれかを会派で振り分ける。



日頃、皆さまから寄せられた声や相談が、区政を変えるための質問になることも多いです。

A・地元の声は届いている。校舎の年次としては古いが就学人口は今のところ落ち着いており優先度はそれほど高くなく、建替は検討していない。最近では後地小や鯉浜小など、狭隘道路での工事の実例もあるので、技術的にクリアできないことはない。

【感想】建て替えが技術的に可能とはっきりしたのは重要で、建替は再開発手法である必要はありません。地域の声を踏まえた検討をさせましょう。

ニュースへのご感想も  
お気軽にお寄せ  
ください

区議控室 Tel. 5742-6818/FAX 3778-3088  
事務所 西品川3-16-3 Tel/FAX 3491-3230  
taisakuando19740217@gmail.com

\*当ニュースは、議会活動および区政に関する政策等の広報活動に要する経費等をまかなう「政務活動費」で発行されています



## 高齢者住宅の増設を

Q・ニーズに比べ申請者数が少ないのでは。周知強化とともに増設を。

A・毎年60名前後の申込でそれがニーズだと捉えている。年間予算で約2億円の維持管理費。今後の建て替えで多くの費用もかかる。ニーズや費用、国や都の施策とのバランスなど考える必要がある。

## 保育園「待機倍率は解消」

### との認識を改めよ

Q・2次募集の結果は。「待機児は基本的に解消」との認識は現実と乖離していると思わないのか。

A・保育園2次募集後の不承諾数は971名。(隠れ待機児を除くのは)国の基準にのっとってやっている。認可保育園だけでニーズを全て満たすことはできない。

【感想】高齢者住宅、認可保育園ともに供給数が現実のニーズとみ合っていない。更に生の声や実態を突き付けていく必要があります。

子どもにも変わることを求めるのでなく大人が変わる自殺予防対策を

Q・品川の二十歳未満の自殺死亡

率が全国上位10〜20%に入っていると高い。その理由は何か。子ども

の自殺の要因は、家族からのしつけや叱責、学業不振や進路問題など、身近な大人の日常的な対応によるものが多いとの指摘をどう考えるか。予防対策は道徳の押し付けでなく、受容傾聴を重視すべき。

A・高い事実があることは認識し、子ども若者を対策の重点の一つにした。子どもの自殺の要因は様々で、身近な大人、環境にあることも認識。「死にたい」と言われた時に否定せず、まず傾聴する受け止める事の大切さを研修でも伝えており、区民にも理解して頂くように努力していく。

## 開発の税投入額開示を

Q・開発への補助金額について、過去、都市計画審議会では説明した事があるのに、なぜ小山三丁目地区では明らかにしないのか。

A・以前の答弁は民間事業者が検討している見込みを話したもので、計画の段階でこれから変動するの

で固まった段階でお答えしたい。【感想】見込みでいいので答弁をと

求めても答えない。よほど明らかにしたくない数字なのでしょう。

## 羽田新ルートは停止を

Q・最新のニュースレターには固定化回避検討について「ニューレターも用い検証」とある。国は既に具体的なルートを想定しているのでは。

A・区も「具体的なルートで検証しているのでは」と国に伝え早急に示してほしいと求めたが、「具体的なルートを決めた検証はまだ行われていない」との回答だった。

## 学校図書館司書は委託でなく直接雇用

Q・偽装請負を避けるためから現場の連携を妨げている委託という雇用形態は見直し、直接雇用にせよ。都立校では改善された。

A・偽装請負にはあたらない。特に問題もないと考えている。

## 習熟度別授業の見直し

Q・一番低い学年で何年生から行われているのか。学力格差が広がるこの問題の指摘があるが。

A・1年生から取り組んでいる学校もある。むしろ格差をなくす方向で行っていると認識している。

日本共産党

第三火曜・無料法律相談会 4月は4/19(火) 18:30~20:30

【会場】安藤たい作事務所 【主催】共産党品川地区委員会

\*予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず  
お気軽にご相談下さい。



安藤たい作プロフィール

1974年仙台市生まれ。宮城教育大卒。漫画家を志し1998年上京。2002年コミック誌奨励賞受賞。派遣社員4年を経て、2006年区議補選で初当選。2019年〜4期目へ。家族、妻・二女。